



学校だより

# 志高く

正しい判断力とたくましい実践力を  
もった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校  
電話 048(521)0066  
FAX 048(521)8429  
令和5年7月20日  
第6号

## ムサントミヨ～世界で熊谷東中学校区だけに生き残るキセキの魚～

校長 清水利浩



ムサントミヨは、世界で熊谷東中学校区だけに生き残るキセキの魚です。熊谷東中は、久下小と佐谷田小とともにムサントミヨの繁殖活動を行っています。熊谷東中の中庭には、「トミヨ池」があります。本校の繁殖活動の歴史は古く、1985(昭和60)年から行われ、今年が38年目となります。

ムサントミヨは、体長は3.5～6cmの小さな魚です。水温10～18度くらいのきれいで冷たい湧き水があり、水草が茂る川に

生息する冷水魚です。

本校には、正面玄関にも大きな展示水槽があります。ここには、ムサントミヨがオスとメス10匹ずつ生活しており、日常的に観察することができます。

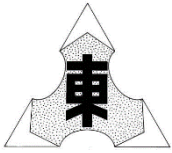
ムサントミヨは大変珍しい生態をもっており、オスが小鳥のように巣を作り、子育てをします。水草で直径3cmくらいの巣を造ります。この時期、オスは体が黒色(婚姻色)になります。メスが巣内で卵を生むと、卵がふ化し、稚魚が巣立つまで、オスは寝ずに巣を守るのです。ムサントミヨには、体にうろこがなく、背びれ、腹ひれ、尻ビレにトゲを持っています。このトゲは、敵から身を守る時などに使うのだそうです。

展示水槽での繁殖はなかなか難しく、東中では、6月ごろに巣が作られたのですが稚魚を見ることができませんでした。そして7月、新たな巣が作られ、オスが一生懸命守っています。ぜひ、生徒の皆さんだけでなく、保護者の方々、地域の方々も見に来てください。

先日、「熊谷市ムサントミヨを守る会」会長の江守和枝さんが来校し、紙芝居「キセキのさかなムサントミヨ」を寄贈していただきました。一枚一枚、とても優しく美しいイラストで、文章を含めムサントミヨについての理解を深められる紙芝居です。

今後、全校生徒で共有する時間をつくろうと考えています。

<参考書籍> 『みんなで守ろう市と県の魚 熊谷市ムサントミヨ』 令和5年3月 ムサントミヨ保全推進協議会  
紙芝居『キセキのさかな ムサントミヨ』は、江守和枝さんから本校にいただきました。



がちゅう  
R5 東中の歩み



地域を愛し、地域と共に成長しています。たくさんの方のご協力に感謝でいっぱいです。



第1回資源回収（持ち込み式で実施）  
7月8日～7月17日

登校時の交通指導開始（上之交番職員）  
6月30日～



『暑さ対策』地域へ発信!中学生  
サポーター事業」実施 7月14日

生命（いのち）の授業（くまがやピンク  
リボンの会）【1年生実施】 7月14日



フリー参観、高校説明会（熊谷農業高校、熊谷工業高校、熊谷商業高校、熊谷女子高校、  
熊谷西高校、熊谷高校、進修館高校、深谷第一高校、本庄高校） 7月8日



英語OBL（オンライン・ブレンディッド・ラーニング）【全学年実施】  
7月5日、13日、14日